

令和6年11月26日

令和6年度 第2回 大阪市立玉出小学校 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立玉出小学校

校長名 山岡 良知

| | | |
|----------|--|--|
| 日 時 | 令和6年11月26日(火) | |
| 場 所 | 玉出小学校 会議室 | |
| 出席者 | 委員 など | 会長及び委員 8名 |
| | 校 園 | 校長、教頭、首席 3名 |
| | 区役所 | 保険年金担当課長 1名 |
| 議題 | (1) 令和6年度玉出小学校の教育について (2) その他 | |
| 協議 要旨 | 協議の結果 | 意見の概要 |
| | (1) ○運営に関する計画の中間評価について意見をいただき、取組内容の理解を得た。 | <p>○学力に関して、算数や専科の授業の甲斐があり、各調査の結果に反映されていると感じる。特に算数科においては、トライ&エラーを繰り返し、自身で取り組んで学び取っていくことで学力も向上すると思う。教科担任制をすすめるべく、教員の数が増えればよいと感じる。</p> <p>○学校だよりは、子どもに対して発信されているが、大人も読むのを楽しみにしている。</p> <p>○運動会では、各学年の演技に感動し、力をもらった。</p> <p>○朝食を食べていない家庭が思いのほか多い。朝から学習に取り組むうえでも大切だと思うので気になるところである。</p> <p>○共働き世帯、核家族化等家庭での教育力が低下していかないか心配である。地域で支えていけるよう取り組んでいる。</p> <p>○いつでも相談できる環境があることや相談して何らかの解決がされることで自己肯定感が増加していることがアンケートから見てとれる。教員との信頼関係ができています。</p> <p>○働き方改革の一環として、連絡帳機能や持ち帰りの活用であったり、デジタルドリルの活用による個別最適な学びが進められていたりICT化が進んでいると感じた。</p> <p>○若手教員をいかにして育てていくか、子どもの学力向上にかかる課題である。学校での今後の取り組みを期待する。</p> <p>○運動場の工事により体を動かす機会が減っているであろう。とある自治体では、校舎内全体使ったサーキットトレーニング休み時間に行っていると聞く。実行は難しいだろうが、参考に紹介させていただいた。</p> <p>○現代は小さいころからスマホがあり、何でもすぐに調べることができるが、情報の取捨選択が必要。ネットの使い方に注意せねばならない。</p> <p>○連絡帳が一人一台端末になり、子どもが立ち上げない限り、手紙や宿題が連絡帳のとおりなのか保護者には確認するすべがなく、便利ではあるが一長一短であると感じることがある。</p> |
| 協議資料 | ○式次第 ○令和6年度「全国学力学習状況調査」、「すくすくウォッチ」結果 ○7月実施児童・保護者アンケートの結果 ○学校だより(7～12月号) ○令和6年度「運営に関する計画」(中間評価) | |
| 備考 | 傍聴者[0]名 保護者0名 地域0名 | |